






〔

〕の水環境調査記録用紙

調査期日：()月()日(

)小()年()組 氏名〔

〕

指標生物図	階級	No.指標生物名	水質環境評価階級				
			I	II	III	IV	V
	I 快適	1. カワゲラ類					
		2. ナガレトビケラ類					
		3. ヒゲナガカワトビケラ					
		4. チラカゲロウ					
		5. 携巣性トビケラ類					
		6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
		7. ヒラタカゲロウ類					
	II 親しめる	8. ウズムシ類 (プラナリア)					
		9. ヘビトンボ類					
		10. マダラカゲロウ類					
		11. タニガワカゲロウ類					
		12. ブユ類・ガガンボ類					
	III 不快を感じない	13. カワニナ					
		14. ヒラタドロムシ					
		15. コカゲロウ類					
		16. コガタシマトビケラ					
		17. ユスリカ類 (白・緑)					
	IV 多少不快	18. 貝類					
		19. サホコカゲロウ					
		20. ミズムシ (等脚目)					
		21. ヒル類					
			V 不快	22. サカマキガイ			
23. イトミミズ類							
24. セスジユスリカ(赤)							
25. ホシチョウバエ							
得点の集計	出現した種の数 (○+●)						
	最も多い種の数 (●)						
	得点の合計						
指標生物による水環境評価の判定	判定段階： I・II・III・IV・V ()						
その地点で採取された指標生物には○印を、すべての指標生物の中で、最も個体数の多い種類には●印を記入する。●印は原則1つ(2つまで可)。判定は、得点合計の最も大きいところが水環境の評価となる。							